

平成20年10月20日

貧酸素水塊速報 (2008年)

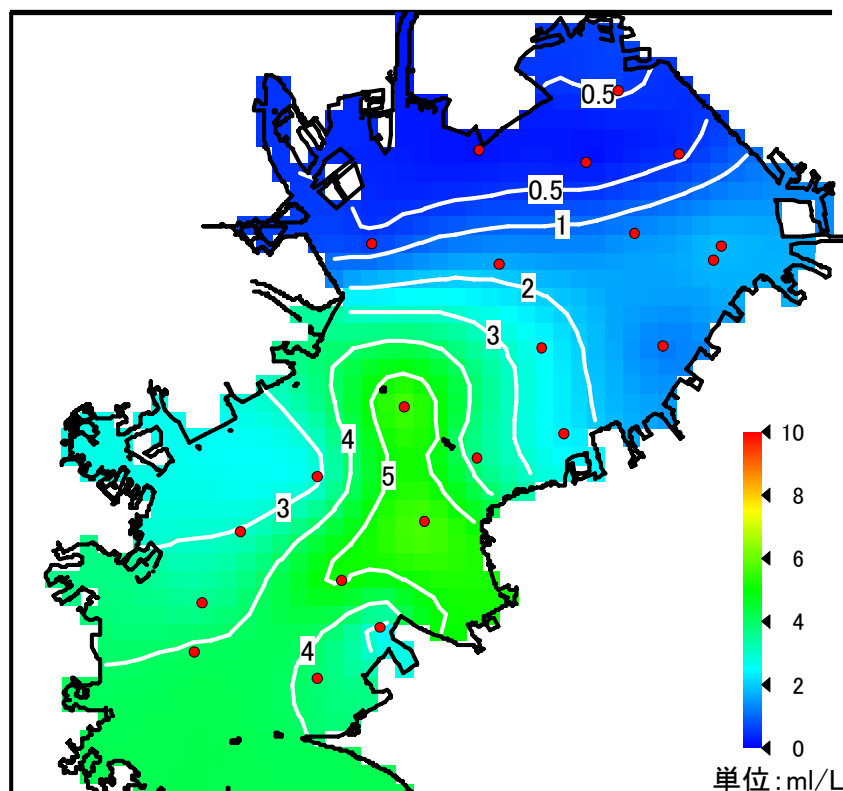
【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
【協力】 神奈川県水産技術センター ○内湾底びき網研究会連合会
千葉県環境研究センター 東京都環境局
第三管区海上保安本部 ○千葉灯標モニタリングポスト
国立環境研究所
(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成20年10月14日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

内湾北部には依然として貧酸素水塊が分布していました。また、湾奥には前回(10月7日)に引き続き、溶存酸素量0.5ml/L以下のほぼ無酸素水塊が見られました。

10月9～10日に、千葉港内、船橋航路付近、江戸川河口付近で局所的ですが青潮が発生した模様です(千葉県水質保全課からの情報引用)。湾奥にはまだほぼ無酸素な水塊が分布しています。依然として、北寄りの風が吹き続けると青潮が発生する状態にありますので注意が必要です。



底層の溶存酸素量分布

「東京湾貧酸素水塊予測システム」も運用しています。

最新の貧酸素水塊分布推定図は、水産総合研究センターホームページ内の

<http://www.pref.chiba.jp/laboratory/fisheries/04jouhou/04tkiffile/04tkiffil.html> に掲載しています。

携帯電話は <http://www.awa.or.jp/home/cbsuishi/04tksuitei/04tkmobile00.gif> に掲載しています。